

○パラリンピックへの取組みについて

Q 2020年のオリンピック・パラリンピックは、品川区開催の競技もあり、区民として何らかの力になりたいと思い、楽しみにしている。

先日、パラリンピックリオデジャネイロ大会のブラインドサッカーアジア予選が行われ、微力ながらお手伝いさせていただきました。

リオデジャネイロ大会には残念ながら出場は叶わなかったが、競技だけでなく、ハンディのある人への理解ももっと深まってほしいと強く感じた。

品川区はブラインドサッカーの会場になるが、季節イベントだけでなく、日頃から競技に親しめる場所の提供や、小・中学校の授業や課外活動などでもブラインドサッカーを取り上げてほしいと思う。競技だけでなく、ハンディのある人もない人も混ざり合う社会への取組みを期待しています。

A 2020年東京大会において、品川区内ではオリンピック競技としてホッケーとビーチバレーボール、パラリンピック競技としてブラインドサッカーが開催される予定となっています。

区では、区内開催3競技を中心にオリンピック・パラリンピック開催の機運醸成を図っているところです。

ブラインドサッカーにつきましては、平成26年度しながわ中央公園にて「ブラインドサッカーフェスタ」を開催し、関東リーグの公式戦観戦や体験コーナーを通して、多くの方に親しんでいただきました。今年度は各種行事（しながわエコフェスティバル、大井・大森夢フェア、ホッケーフェスタ等）に体験コーナーを設け、実際に体験していただくとともに、希望する活動団体に対して「出前体験教室」を実施し、ブラインドサッカー協会の講師を派遣する事業も始めました。また、昨年より区内小学校においても、体験授業を展開しています。

さらに、お手伝いをいただいた9月のアジア選手権の第4日目「日本対インド戦」を観戦するツアーを行い、小学生から大人まで50名が参加いたしました。

区では、こうした取組みを今後も積極的に実施し、障害者スポーツへの理解を深めると同時に、障害の有無にかかわらず誰もがともにスポーツに親しみ、生き生きと過ごせることを目指してまいります。

今後ともオリンピック・パラリンピック開催に向けての取組みに、ご理解・ご協力をお願いいたします。

(文化スポーツ振興部オリンピック・パラリンピック準備課)